

空いた時間にちよつと働きたい。
いろいろな仕事を体験したい。
そんなわがままが通るのも派遣だから。

Naritai Jibun

“なりたい自分”

“なりたい自分”について

家事をこなしながら、自分の時間も持て、空いた時間にいろいろな仕事を楽しめる、今の生活に満足しています。これからも楽しい仕事にどんどん挑戦していきたいです。

派遣に登録したきっかけ

結婚を期に退職。「土日だけ働けたらいいな」と思っていたときに、派遣のを知り、友達と一緒に登録しました。いまでは、すっかり仕事楽しくて週に5日働いています!!



★ My Professional ISM

明るく振舞うことが 新しい職場で楽しく働くポイント

自分の都合に合わせて、スポット的に働いているので、さまざまな派遣先へ出向きます。新しい人たちと仕事をする際に気をつけているのは、第一印象ですね。その場にすぐに溶け込めるよう「元気よく、明るく」を意識して振舞っています。また初日は、身なりをきれいに整えて行くなど、自分なりに気を遣っています。

Profile

プロフィール

佐藤千ひろさん（31歳）

家族構成	夫と2人暮らし
職務履歴	正社員としてホテルフロントや、予約センター事務などを6年
派遣歴	約5年
勤務地	静岡・浜松
勤務時間	5～8時間×週5日
時給	1100円以上

私 は単発の仕事を受けることが多いです。いわゆるスポット派遣です。自分の空いている時間に合わせて働けるので、お気に入りの働き方です。

派遣登録をすれば、さまざまな仕事の情報がメールで送られてきます。当初は、週に2、3日働くつもりが、メールで仕事情報をチェックしているうちに、事務職や受付・案内職などにも興味が出てきました。現在は、毎週火曜日は団体の事務局員、木曜日は電力会社のインストラクター、土日はイベントの受付やコンサート案内など、ほぼ毎日、仕事をしています。

団体関係の仕事では航空自衛隊の関連施設へ行くこともあります。今までは航空自衛隊にかなり詳しくなりましたよ。派遣でいろいろな仕事をする中で、新しいことに興味を持てたり、知らなかったことを知ることができるよう、楽しいことです。

夫は、私の働き方を楽しそう、と言ってくれています。「今日はどこ？」と聞かれるのも我が家の日常会話です。そして働いた自分へのご褒美は、舞台鑑賞と海外旅行です。

スポット派遣は、空いた時間にちよつと働きたい…と思う主婦には、ベストな働き方だと思います。アルバイトより時給がよく、お休みの融通がきくのも嬉しいですね。



最先端の技術を扱う企業で働けるのも派遣の醍醐味。
得た知識はボランティアで活かしていきたい。

Profile

プロフィール

坂本章さん (39歳)

家族構成 1人暮らし

職務履歴 正社員として営業職を6年

派遣歴 約2年

勤務地 東京・港

勤務時間 8時間×週5日

時給 2000円以上

Naritai Jibun

“なりたい自分”

* My Professional ISM

話すことで相手の価値観を理解する。
そのためにもコミュニケーションは大切

仕事をする上で大切にしているのは、コミュニケーション。日本では価値観が違っていると身構えてしまいがちですが、価値観は違って当たり前。コミュニケーションにより相手の考え方を理解することで、もっと仕事がスムーズに運ぶと思うのです。僕が経験した海外では職場でもみんなよく話をしていました。仕事といえども基本は人間関係ですよ。

“なりたい自分”について

JICAの技術協力専門家を目指しています。これからもっとネットワークエンジニアとしてのスキルをアップできれば、自分の技術を必要としている国の役に立ちたいです。

派遣社員の魅力

いろんな会社の、仕事への取り組み方や考え方がわかるのは貴重ですね。またさまざまな会社で働くことで、経験が積み、スキルアップできることに魅力を感じます。

も

とも、IT企業でシステム
コンサルタントをやっています

た。営業職から技術職に転職し、修得した技術は、JICA(国際協力機構)でのボランティアで活用しています。JICAでは、2年間、チュニジアで、障害のある子どもたちにパソコンを教えていました。

現在の派遣での仕事は、ネットワークエンジニア。外資系のコンサルティング会社でのデータベースの管理が主な仕事です。派遣先で海外から入ってくる最先端技術に触れられるのはシステムエンジニアにとって喜びです。

しかし、派遣という雇用形態に100%満足というわけではありません。テクノロジ系の技術者の場合、システムの要となる部分に触れる機会は社員より少なく、その割に現場での責任が重いのです。それでも派遣を選ぶのは、目指したいことがあるから。僕の場合は、派遣で働きながらスキルアップを目指し、その技術でこの先も発展途上国の支援を続けたいと思っています。男性でも女性でも、自分が「やりたい」と思うことがあったら、転職して、派遣というシステムを活用するのも得策ではないでしょうか。自分の時間や生き方を優先したり、スキルアップを図ったり、やってみたかった仕事にチャレンジしたりと、派遣というシステムは、非常に便利な働き方だと思っています。